

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月10日作成

事業番号	6286	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	図書館資料整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 12 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	(2) 図書館資料の充実				
関連する個別計画	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	多様化する町民のニーズに沿った図書館資料を収集し、利用者へ提供することにより生涯学習へ資する。								
対象	町民及び図書館利用者								
内容	豊富で幅広い図書、定期刊行物、視聴覚資料を収集し提供する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	6,352,336	6,045,692	5,823,000		
	人件費					
	常勤職員	1,097,800	776,220	751,740		
	会計年度任用職員等	303,930				
	人件費合計	1,401,730	776,220	751,740		
	総事業費	7,754,066	6,821,912	6,574,740		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,754,066	6,821,912	6,574,740		
	財源合計	7,754,066	6,821,912	6,574,740		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
人口1人あたりの資料購入費		年間資料購入費/人口	円	232.7	223.3	224.8
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
人口1人あたりの貸出点数		年間貸出総点数/人口	点	5.1	3.7	4.1

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 教育や文化の醸成は、行政が直接、公的責任のもとで行ったほうがよいと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 図書館資料の収集によって、幅広く多様なニーズに応えることができたと考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 情報提供や文化的な生活を支えるものとして、図書館資料は有効であると考えます。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 全町民を対象としており、乳幼児から高齢者まで幅広い層のニーズに沿った資料を選定、収集している。

令和2年度までの自己評価または改善点	週に1回、新刊情報やリクエスト、書評などから判断し購入する本を選んでいる。
--------------------	---------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 令和2年度から窓口業務を民間事業者へ委託したが、図書館の運営と選書及び購入は町直営で実施している。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	当初予算減少による新刊本の提供減少により苦情もあったことから、予算の確保に努め、他館との相互貸借制度も利用して、利用者のリクエストや図書館資料の提供に応えていきたい。
令和4年度以降の方向性	従来からの企画運営と並行して、新型コロナウイルス感染症対策も進める。図書館資料については、今後も町民のニーズを見極め、資料を収集し提供する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月10日作成

事業番号	6281	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	ブックスタート・セカンドブック推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	9	項	7	目	3	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯教育	(3) 図書館施設・運営の充実	(4) 子どもたちに対するサービスの推進				
関連する個別計画	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	図書と親しむきっかけを作り、学齢期の読書活動の基礎となる「家庭での読書」を定着させる。								
対象	・4か月乳児及びその保護者(ブックスタート) ・小学校1年生及びその保護者(セカンドブック)								
内容	ブックスタートでは、4か月児健康診査において、絵本の配布及び絵本の読み聞かせ等を実施している。セカンドブックでは、小学校入学時に、各児童が希望した図書を学校長が直接手渡し、また、ボランティアによる読み聞かせ等を実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	196,058	231,935	229,000	
コスト 人件費	常勤職員	199,600	213,080	201,960	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	199,600	213,080	201,960	
	総事業費	395,658	445,015	430,960	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	395,658	445,015	430,960	
	財源合計	395,658	445,015	430,960	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
ブックスタート配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100
セカンドブック配布率	配布者数/対象者数	%	100	100	100
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
児童図書貸出点数	児童図書の利用状況	点	26,829	18,039	21,500

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 4か月児健康診査及び小学校入学の対象者は行政機関しか収集できない情報であるため、町が実施すべきと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 少子化や活字離れ等の傾向が見られる中、親子の読み聞かせや読書へのきっかけを作った。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 図書に親しむきっかけ作りに加え、本を介した家庭内でのコミュニケーションの増進が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 小学校や保健センターと連携し、対象者を把握し実施した。転入児童(1年生)にも配布している。

令和2年度までの自己評価または改善点	ブックスタートは感染症対策のため、その場での読み聞かせは中止し、保護者へ読む際のアドバイスや見どころ伝える形で行っている。 セカンドブックは贈呈式での読み聞かせが、校長判断で中止となった学校もあった。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 4か月児健康診査及び小学校入学の対象者は行政機関しか収集できない情報であるため、町が実施する必要があると考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	感染症対策を講じて行っているが、今後は感染症の状況を見極め、関係部署と連携して実施していきたい。 ブックスタートもセカンドブックも共に好評で、子供たちが自ら読書に親しむことに繋がりたい。
令和4年度以降の方向性	家庭での読書の楽しさを実感できる環境を整えるため、事業を継続していく。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月10日作成

事業番号	6290	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	子ども読書活動推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(3) 図書館施設・運営の充実	(4) 子どもたちに対するサービスの推進				
関連する個別計画	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	第三次湯河原町子ども読書活動推進計画(計画期間:平成29年4月～令和4年3月)に基づき、子どもの読書活動を総合的に推進する。								
対象	おおむね0歳から18歳まで								
内容	第三次湯河原町子ども書活動推進計画に基づき、ブックリストやたくさんよんだね手帳の配布、子ども読書まつりの開催等、子どもが本に接し読書に親しむための機会の提供と環境づくりを行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	35,990	4,550	75,000	
コスト 人件費	常勤職員		332,938		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	332,938		
総事業費	35,990	337,488	529,410		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	35,990	337,488	529,410	
財源合計	35,990	337,488	529,410		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
子ども読書まつり参加人数	主眼となる事業のため	人	47	0	50
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
0歳から18歳までの利用者の貸出点数	本事業の対象年齢	点	11,873	7,906	12,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町全体における子どもの読書活動を推進することを目的としていることから、町が直接実施すべきと考える。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 オンラインにより、本の紹介(ブックトーク)や読み聞かせ(おはなしだっこ)動画を配信し、本に接するきっかけを提供した。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 動画配信も閲覧され、紹介した図書の貸出もあり、読書に親しむ効果があった。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 オンラインによる配信のため、いつでも・どこでも・誰でもが閲覧することが可能である。
令和2年度までの自己評価または改善点	各種イベントが開催できない中で、学校巡回文庫のほか動画配信によるブックトークなど、本の情報を提供することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	子ども読書に関わる機関の連携を行政が中心となり調整しており、また子ども読書活動推進協議会が事業の推進を担っているため、事業は町が実施する必要があると考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	感染症による臨時休館中も、本等の貸出の貸出ができないか、イベントを開催する手立てはないかと検討し、休館中の貸出やオンラインによるおはなし会やブックトークの動画配信を行うことができた。	
令和4年度以降の方向性	本に接する機会の提供のため、イベントの実施時期など感染症の状況を見極め、注意を払って開催したい。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月10日作成

事業番号	6286	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	図書館施設整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	平成 25 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯教育	(3) 図書館施設・運営の充実	① 図書館施設整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	建物及び附属設備の老朽箇所を改修・更新することにより安全性と利便性を確保し、町民及び利用者にとって安全・安心で使い易い図書館運営を行うこと								
対象	町民及び図書館利用者								
内容	【平成28年度】誘導灯交換修繕、屋上建屋改修工事 【平成29年度】消防設備改修工事 【平成30年度】安全対策工事・放送設備等改修工事 【令和元年度】展示パネル購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	2,649,348	0	4,037,000	
コスト 人件費	常勤職員	309,310	37,400		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	309,310	0	37,400	
総事業費	2,958,658	0	4,074,400		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,958,658	0	4,074,400	
財源合計	2,958,658	0	4,074,400		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
利用者一人あたりに換算した事業費	事業費/利用者人数	円	62.2	0.0	70.0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
人口1人当たりの貸出点数	年間貸出総点数/人口	点	5.1	2.7	50.0

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 図書館は町直営により運営しているため、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 竣工から40年以上を経過しており、建物及び附属設備の老朽箇所について、優先順位を考慮して実施したい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 優先順位を考慮した改修の実施により、建物及び附属設備の安全性及び利便性が高められる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 建物及び附属設備の改修により、来館する町民及び利用者が安心して継続的に図書館を利用することができる。
令和2年度までの自己評価または改善点	図書館の開館を確保しながら建物及び附属設備の改修を実施するにあたり、町民及び図書館利用者への影響をなるべく避けるため、休館日を有効的に活用する等、施工日及び施工方法に配慮した。事業予算化せずに経常費修繕料で修繕した箇所もある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	図書館は町直営方式により管理・運営しているため、町が実施する必要があると考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	点検による不具合箇所や、雨漏り、設備の破損箇所について修繕を行っていく。	
令和4年度以降の方向性	湯河原町公共施設個別施設計画において、施設の在り方を検討していく中で、建物及び附属設備の状態により、優先順位を考慮しながら、必要に応じて修繕や改修を行っていく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月10日作成

事業番号	11676	担当課等	社会教育課図書館							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	03	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯教育	(1) 生涯学習推進体制の整備	③ 身近な公有公共施設の設備充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町民の自主的な文化活動のため、安心して利用できる活動拠点として、新型コロナウイルス感染症の対策が施された施設として整備する。								
対象	町民及び図書館利用者								
内容	感染の拡大を防ぐため、本の除菌機を設置、飛沫を防ぐアクリル板の設置、手指を消毒するためのアルコールの設置。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費		1,363,437	5,897,000		
コスト 人件費	常勤職員		38,050	74,800		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	38,050	74,800		
総事業費	0	1,401,487	5,971,800			
財源内訳	国庫支出金		1,363,437	5,897,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	38,050	74,800		
財源合計	0	1,401,487	5,971,800			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
年間貸出冊数	視聴覚資料を除いた冊数	冊	116,130	88,318	104,000	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
除菌機による除菌冊数	視聴覚資料を除いた冊数	冊		35,886	119,000	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町直営であり、不特定多数の方が利用する施設であるため、町が実施する必要がある
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	対策を講じることにより、感染の拡大を防止できる
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	図書館を安心して利用できるため、感染症対策として有効であると考ええる
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	来館者や利用者全てが受益できるため公平である

令和2年度までの自己評価または改善点	利用者の入館時に手指のアルコール消毒を励行、図書や視聴覚資料の除菌も行った。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 返却図書館資料の除菌は、窓口業務委託業者により行われているが、運営が直営のため資器材の調達などは町で行うことが望ましいと考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	入館時の検温と手指の消毒は習慣化しており、図書館資料の除菌も含めて今後も継続する。 多くの方が利用するトイレの洗面所水栓を非接触型に改め、感染リスクの低減を図ることができた。
令和4年度以降の方向性	3密の回避と新しい生活様式に沿った感染症拡大防止対応を継続する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------